

厚生労働省和歌山労働局発表
平成26年10月31日（金）

担 当	厚生労働省和歌山労働局		
	職業安定部職業安定課		
	課長	榎本	一之
	課長補佐	濱畑	敏行
	労働市場情報官	森脇	稔
	電話	073(488)1160	

和歌山県の労働事情 第23号

平成26年度高等学校卒業者の就職内定等状況について

～内定率、リーマンショック前を上回る水準を達成！～

- 平成27年3月新規高等学校卒業予定者（平成26年度）の選考・内定は9月16日から開始されているが、就職内定率（9月末現在）について、今年度、前年度、リーマンショック前後の平成20年度及び平成21年度を比較してみると、次のとおりとなった（図1）。
 - 今年度の就職内定率は53.0%で、前年度の40.7%を大きく上回った。
 - 平成20年度が51.6%であったことから、リーマンショック前の水準を上回る結果となった。
- リーマンショック前の平成20年度から今年度までの就職内定率と求人倍率の推移を9月末現在で見ると、次のとおりとなった（図2）。
 - 今年度の求人倍率は0.91倍で、前年度の0.70倍から0.21ポイントの大幅な上昇となり、リーマンショック（平成20年度）以降最高の水準となった。
 - この5年間の推移をみると、概ね求人倍率の上昇・低下が就職内定率の上昇・低下につながる事が分かる。
前年度の求人倍率は0.70倍で、その結果3月末現在の就職内定率が97.6%であったことを考えると、今年度は少なくとも昨年度の水準を上回ることが考えられる（図1、2）。

図1 和歌山の新規高卒就職内定率の推移

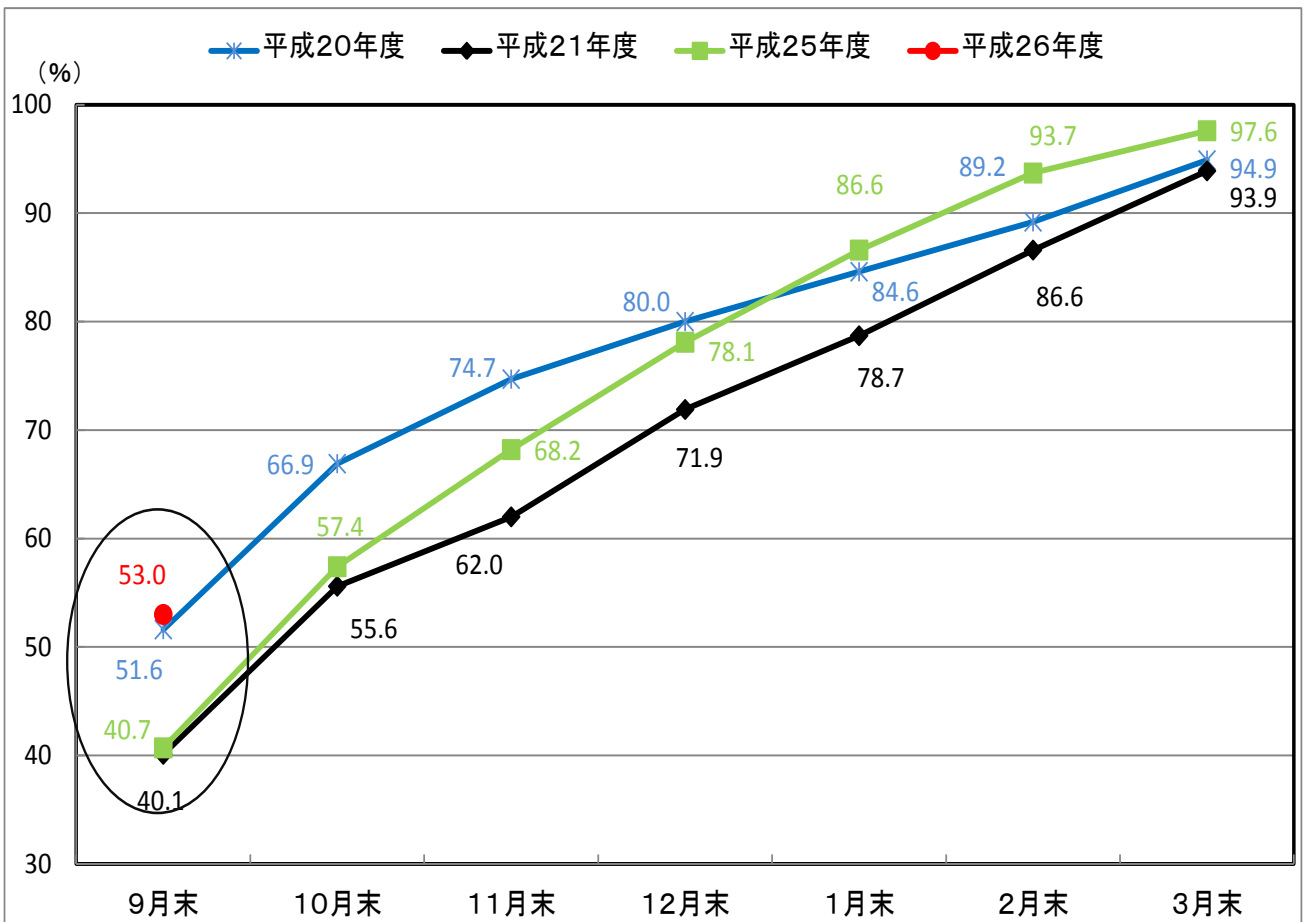


図2 和歌山の新規高卒就職内定率、求人倍率の推移（各年9月末現在）

